

# 新基地建設反対名護共同センターニュース

## 石垣と沖縄の未来がかかった石垣市長選 “宮良新市政で「平和で市民本位の市政」実現を”

### 県民のたたかいの前に 工事の遅れ 焦る安倍政権



22日朝8時半過ぎの辺野古ゲート前。座り込むおじい、おばあたちの拘束が始まった。白ナンバートラックに加え、最大積載量28トンのトレーラーダンプが急に増えた。しかし、県民の闘いで工事は遅々として進んでいない。安倍政権の焦りが見てとれる。「闘いは今からですよ～ 闘いはここからですよ～」みんなでこぶしを突き上げた。「毎日200人、300人集まればダンプは確実に止められる。周囲に声をかけ、参加者を増やそう」とみんなが決意を固めた。(宮城)

相次ぐ米軍機事故が国民・県民の安全と命を脅かしています。「基地のない平和で豊かな沖縄」、「これ以上米軍も自衛隊もいらない」の願いは県民の中に広がっています。市長選は「ミサイル基地反対の市民」と「安倍政権いいなり・自衛隊基地受け入れ勢力」との対決の構図です。宮良みさお新市長の誕生は、「石垣の自衛隊基地化」に打撃を与え、同時に、「建白書」実現、秋の知事選勝利に道を開くものです。全県、全県から支援を集中しましょう。



宮良みさお  
市長予定候補

石垣市長選挙が3月4日告示、11日投票で行われます。「オール沖縄」から市議会19年のベテラン政治家・宮良みさお(操) 予定候補が出馬します。

「ミサイル基地反対の市民」  
「自衛隊基地受け入れ勢力」  
との対決



宮良氏の必勝決起集会  
1500人で盛り上がる  
宮良みさお候補の必勝決起集会  
集会が21日、石垣市内で開かれ1500人の市民の参加で盛り上がりました。宮良氏は「島の将来は、私たち市民が決めよう」と訴えました。

## 第1土曜県民大行動と三線の日

辺野古に新基地を造らせないオール沖縄県民会議は、新基地建設工事に抗議する第1土曜日の大行動を呼びかけています。

### 3月4日は三線(サンシン)の日

また3月4日(サンシンの日)は、県内各地やテレビやラジオで三線の演奏など行事が行われます。日曜日ですが、ゲート前でも例年通り三線の演奏や舞踊がおこなわれます。詳しい日程は次号ニュースでお知らせします。

### 第1土曜の県民大行動

とき 3月3日(土) 8:30~16:00

12時~13時は大集会を開催します。

ところ キャンプ・シュワブゲート前

主催 オール沖縄県民会議

## サンゴ移植許可も「新基地反対揺るがず」と知事



ヘリ基地反対協の学習会。正面で立って話している女性が講師の大久保准教授。

「無条件では許可しない」  
翁長知事は19日、防衛局がサンゴ移植の許可申請を16日に認めたことに関して記者会見し、「許可することとが相当だ。今後もサンゴ移植の審査は法令にのっとり厳正におこなう。無条件では許可しない。『基地を造らせない』の思いに、みじんも揺らぎがない」と強調しました。

サンゴ礁移植問題で  
県へ要請と学習会を開催  
ヘリ基地反対協  
ヘリ基地反対協は20日、安次富浩共同代表や仲本眞事務局長らがサンゴの移植問題で沖縄県水産課に、許可の取り消しが可能かどうかも含めて要請しました。要請にはサンゴ生物学が専門の東京経済大学の久保奈弥准教授も同席しました。

同反対協は名護市内で20日夜、大久保准教授を講師に「サンゴの移植問題」の学習会を開催(写真)、約20人が参加しました。大久保さんは「サンゴの移植はほとんど成功した例はなく環境保全にならない。むしろ建設事業の免罪符を与えることになりかねない」と警鐘を鳴らしました。